

相差町池中地区の今後の冠水対策は

市長 排水ポンプパッケージの導入を

令和6年度に位置づけをしています！

三問目「相差町池中地区の冠水対策」について

本年9月と11月の豪雨により、相差町池中地区において三度にわたり冠水しました。地区住民は、度々の被害に困り果てています。この問題については、三年前の令和元年12月9日「一般質問をしました。しかしその後は進んでいない。再度、今後の対策について聞く。

市長 今後の対応策を市長はどのように考えているか。

市長 令和4年度から6年度の大規模ハード整備事業において、1分間に10mの排水



11月23日の池中の冠水状況

能力を有するポンプ、ホース、照明灯がセットになった排水ポンプパッケージの導入を令和6年度に位置づけしております。（事業費2400万円、一般財源を予定）

2400万円の事業費

ただし、今の排水経路のボトルネックになっている箇所や運用面等の課題も検討し、効果的な排水手法を最終決定していくべきと考えています。本年10月20日と11月29日に政策調整会議を開催し、令和5年度に調査業務を実施するよう指示をしました。

令和5年度に調査

に調査

市長は大きな決断をさせていただきました。ようやく動き出したという実感です。

大雨が降ったらその雨がどこから池中へ流れるのか、分水嶺については地元の年配の



(一市道の通行止め場所)

人たちが一番知っています。調査に地元の人々の知恵も借りて進めていただきたい。

排水路の幅がこれだけののか、池中や水路の泥の浚渫（しゅんせつ）をどうするか等の調査をし、今後の冠水対策の解決に繋げていただきたい。

鳥羽の輝きを

創ります！！

世古やすひでが目指すこと

- ①市民の夢をかなえるために、ふるさと納税で自主財源を生み出す。旅行先での観光と納税ができる制度を推進し水産、観光、土産物業を活性化。
- ②若者の声を市政に活かすために、高校生議会を開催。提案した事業を実現するために事業費予算を確保する。
- ③お年寄りや地域の人々が健康で安心して暮らせるために、オンライン移動診療車の導入を進めます。
- ④離島住民や市民の生活を守るために、佐田浜駐車場料金等の値下げを検討する。
- ⑤「天の半分を支える女性」の声を聞くために、各地区で、

女性だけのとばネットワークを開く。

- ⑥人口減少対策で婚活をすすめる、出逢いの場を創る。
 - ⑦ふるさと納税の近礼品に実家で見守り、実家の空き家の見守り（戸の開閉）、お掃除などの見守りを地域の人が行う。市は委託料を支払い雇用を生み出す。そのことにより親元を離れている子や孫の心配を軽減する。その仕組みづくりを進めたい。
 - ⑧子どもは鳥羽の宝。郷土の歴史や文化を守り郷土愛を育てる。児童生徒の学力向上に子育て支援。
 - ⑨漁場の再生や鮑の増殖のため稚貝放流をすすめます。漁業と観光の連携を図り、基幹産業の観光業を支援します。
 - ⑩鳥羽市の玄関口の魅力向上のため、パールビル跡地の再活用に取り組みます。
- 今後、この事業を市民にとって最優先に取り組みへ行き、市民や議会と相談しながら進めていきます。



(一鳥羽マルシェ前のマンホールの写真)

最後に社長的にこの事業を進めていただきたいと要請しました。

市長 今後、国や県との連携や支援をどう図っていくのか。今後、地元の方々に、そして国や県のパイフになっただけの方でも情報収集を重ねながら、いろんな選択肢を探りつつ、当面すべきことはすべきこととして対処して取り組んでまいりたい。

編集後記
謹賀新年
これまで世古やすひでへのこの温まるご声援に深く感謝申し上げます。
今後とも引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

1月2日に鳥羽商工会議所かもホールで開催されました「市民新春交歓会」での中村正人商工会議所新会頭の挨拶が素晴らしいので紹介します。

「商工会議所創立60周年にあたり、これからは3つのCです。」

①チャレンジ挑戦のチェンジ

②コアオペレイション

③協力ですべていきたいと思います。私も新年早々にこの言葉を胸に刻んで、これからの活動を進めていきたいと思えます。

(本紙世古やすひでだより、後援会の討議資料です)

第2段が決定!

鳥羽市キャッシュレス決済推進事業

とば得キャンペーン

最大 20% 還元!!

期間中の還元上限: 各社5,000円(相当)

1回の決済あたり1,000円を上限

キャンペーン期間: 2023.2.1(金)~2.28(水)

担当: 鳥羽市観光課(25-1156)

第一弾は市内事業所や市民に大好評であり、市の担当課は市民の皆さんの熱望に応えました。